

■ 冬支度 ■

皆さんの住んでいるところでは、冬の前にどんな準備をしますか？まだ冬の準備には早いところや準備が必要のないところもあると思います。

毎年1メートル以上の雪が積もる裏磐梯では、冬の準備が必要です。例年10月下旬に磐梯山や西吾妻山などが初冠雪し、ビジターセンター周辺も11月中旬に初雪が降ります。この時期になると道路の脇に赤白ポールが設置され、道路の除雪ドーザーなどの重機も点検などをして、いつでも出動できるようにします。



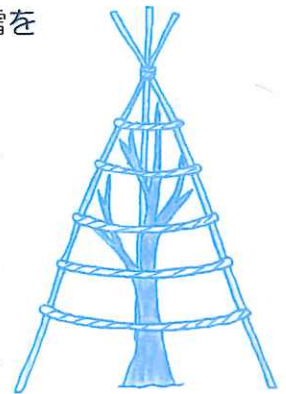
各家では、ストーブなどの暖房器具、防寒着、帽子、手袋、スノーシューズなどの準備や水道管が凍結しないように保温テープや凍結防止ヒーターなどを付け、使わない水道の水抜きをするなどの防寒対策をします。その他にも家の周りの雪を片づけるスノーダンプやスコップなどの

道具、窓や庭木などが雪の重みで割れたり、折れたりしないように雪囲いをし、車は、冬用タイヤとスノーワイパーに交換して、積もった雪を払うスノーブラシを準備するなど車も冬支度です。

このように雪の降らない地域にお住まいの方に比べると雪国では、冬を過ごすための様々な準備が必要で大変ですが、楽しみもあります。雪合戦やかまくら作りなどの雪遊び、水墨画のような一面の雪景色、雪の上についている動物たちの足跡など…自然をととても身近に感じることができます。



これから寒さ厳しい季節になりますが、きちんと防寒対策をして冬の楽しみを見つけてみませんか。



■ こんなの見なかった？ ■

裏磐梯でよく見かける不思議なもの…さて、なんででしょう？

森から緑の葉が落ちて、茶色が中心になり、雪の白一色に染まる時季。散策していて、ふっ。と木々を見上げると、鮮やかな黄緑色を見ることがあります。遠めで見ると、まるで一枚だけ残った葉っぱに見えるのですが、間近で見ると、葉っぱではないことが分かります。はて、気が付くとひと際、気になる黄緑色の葉っぱのような葉っぱではないもの。

これは何でしょう？

- ①やっぱり、落葉しなかった、葉っぱ
- ②虫こぶ
- ③散策者のおやつ残り
- ④蛾の繭
- ⑤来春に向けてできた木の実や花、葉の赤ちゃん

正解は、④蛾の繭です。

正確には、ウスタビガの繭。繭もきれいですが、幼虫も鮮やかな黄緑色、成虫は羽根に丸窓の模様があるなどとてもきれいで人気の高い蛾です。見た目以外にも面白い特徴を持っていることも人気の秘密です。（その秘密は、また今度。）また、きれいな色の繭なので糸が取れるのか？と聞かれますが、取ることはできないようです。雌は羽化後、すぐに自分の繭に卵を産み付けます。かなり遅い時季に羽化するから、急がないといけないのかもしれないね。

これから、白一色になる季節です。白銀の中に光る黄緑色の宝石を探してみてください!!

